



新古今和歌集私抄
離賀冬
薨哀神



伊地知文庫
文庫20
321
2



文庫20

321

2

一指

伊地知氏書冊

伊地知氏書冊

伊地知氏書冊

あつし自あたきまたり
くまの月の中なる所
ゆめはさき

雨後の月とあをき
長四進法

あつし自あたきまたり
くまの月の中なる所
ゆめはさき

あつし自あたきまたり
くまの月の中なる所
ゆめはさき

あつし自あたきまたり
くまの月の中なる所
ゆめはさき

しんしんをいってまゝに... 延喜十四年尚侍市子... 中網言... 和泉式部... 藤行法

津の國の... 大綱成通... 守る法親王... 五

川のあまの
風吹く所はあまの行田の
友奈秀能
ゆのりぬ波よたのく
あまのりなる

浦人の日も夕暮る
たるこそり
権太烟通光

又治六年也
名子ゆのりなる
村のまのりなる

水鳥のかみ
しるもあまのりなる
あまのりなる

湯原五
前部之月
水鳥のかみ

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

雪のあまのりなる
酒上人
雪のあまのりなる

八重山島 白鳥 影 志 前大臣納公公任

山は捕物 車は捕物 白鳥の影 志 前大臣納公公任

夜涼風 宵の月 刑の刀 公犯首

鳥の影 志 前大臣納公公任

音羽の鳥 志 前大臣納公公任

上東門 志 前大臣納公公任

山屋の鳥 志 前大臣納公公任

野の鳥 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

鳥の影 志 前大臣納公公任

うやいの人のこと... なる... 雪回み... 宿福好志

草の... 人の... 大上 天白...

この... 草も... 梅の花...

崇徳院御書 百首奇苑

内大臣... 東極... 前中納言...

信物

信物の... 権... 中... 三

百首の... 式子目録

日ある... 上西門院

古... 大細言

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

あし... 後成

海防の要は... 西行法師

昔の... 昔の... 昔の...

古の... 古の... 古の...

一... 一... 一...

接政大臣... 接政大臣...

年... 年... 年...

水... 水... 水...

百... 百... 百...

権律師... 権律師...

知... 知... 知...

山... 山... 山...

水... 水... 水...

年... 年... 年...

水... 水... 水...

百... 百... 百...

知... 知... 知...

山... 山... 山...

水... 水... 水...

年... 年... 年...

水... 水... 水...

百... 百... 百...

知... 知... 知...

山... 山... 山...

水... 水... 水...

年... 年... 年...

水... 水... 水...

神代卷の序のついでに
みちきき 福なるはまに
思ひあはれ
川中流のさかすか
作宣のついでに
みちきき 福なるはまに
思ひあはれ
川中流のさかすか
作宣のついでに

延喜式六年日本紀
余彦天皇
大江千古
神代卷の序のついでに
みちきき 福なるはまに
思ひあはれ
川中流のさかすか
作宣のついでに

たすき... 後田彦 紀伊守

信田彦... 三後理平

古天の... 三後理平

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

古天の... 紀伊守

増年へてもうこのまゝある信じていようか
白をうけてたの尻で口神樂のおまじり
むとるり

つけ付るる

法下成清 法下成清 法下成清

神くさす廿二のひらまはるる
かえ後よりりりて 月形肉付

年をへてうけけそのみじのうらつら
み治六年廿月日屏風 院時子

月々のみじり 月形肉付
山あめめ

社 雪 云をを 梅家信之通

神 月形肉付

古人の母を母儀といふは母の儀をいふ
十箇文の令の中は神神をいふ

五を形るののさそ 之則大僧正慈園

人 月形肉付

あはれ 月形肉付

社 月形肉付

川をせし 月形肉付

長明の社は...

石川もその...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

春日目...

右の如く... 日吉社... 新編... 述懐... 白を

古の如く... 社... 述懐... 白を

日吉社... 権師

田... 白河院... 述懐... 白を

若... 日吉社... 述懐... 白を

新なる川
白川院
其人く
侍
之の
能
名
大と天
皇

古今皇代
崇神天皇
五年始建
本宮景行
五十八年
熊野権現
殿本地阿
西所推現
師觀音傳
伊辨伊
任吉の
奉
事

形もあてしねて花もあまの華をりしものきりきりしもの
まのゆきよふるの

中納言御海
田代十兵衛

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

御書

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

まのゆきよふるの
まのゆきよふるの
まのゆきよふるの

山の手くの水

南陽郡縣有

井谷谷中水甘

美上有大菊落

永徒山流下得其滋液

谷中人家飲此水上壽百

三二十其中百全七十則

有矣矣 張南敬續

杞菊賦序 惟

杞與菊中和所萃

給南陽與河內

又類愛之可制

千平為の屋よの松林風の勢をうたはれり

山川のまじりのりあり

いづの山なるはて人の心をまじり

延喜寺御所屏風

文治六年世帯御屏風

古伝の山人の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

仙の御神

あれは... 雨... 二月... 同... 中... 綱... 言... 国... 彦

... 二... 院... 淨... 花... 有... 毒... 色... 刑... 罰... 後... 人...

... 同... 月... 日... 南... 野... 花... 有... 毒... 色... 刑... 罰... 後... 人...

... 同... 月... 日... 南... 野... 花... 有... 毒... 色... 刑... 罰... 後... 人... 百... 首... 命... 取... 初... 人... 折... 路... 大... 臣... 臣...

此の年三月廿一日... 備中... 備前... 備後... 備前... 備後... 備前... 備後... 備前... 備後... 備前... 備後...

長和元年 大嘗會 供紀方 風俗等

國朝日御... 備前... 備後... 備前... 備後...

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

長和元年 大嘗會 供紀方 風俗等

國朝日御... 備前... 備後... 備前... 備後...

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大嘗會 供紀方 風俗等

大に越ていくの事を... 仁孝元年

あつたのや... 仁孝元年

丹波... 仁孝元年

神代... 仁孝元年

元暦元年... 仁孝元年

建久九年... 仁孝元年

名傷... 仁孝元年

曾正遍昭... 仁孝元年

是... 仁孝元年

古... 仁孝元年

...

...

...

法金剛院...
 公守新屋母...
 のむ...
 後座...
 定家朝臣母...
 格政...
 ...
 ...
 ...

若大納言...
 ...
 ...
 ...

前之...
 ...
 ...

苗...
 ...
 ...
 ...

あまのついでに... 思ひまを... 神の上丹を...
あまのついでに... 思ひまを... 神の上丹を...
あまのついでに... 思ひまを... 神の上丹を...

白河院成母中宮... 七月七日...
白河院成母中宮... 七月七日...
白河院成母中宮... 七月七日...

神... 女御... 山御...
神... 女御... 山御...
神... 女御... 山御...

一品... 貴子...
一品... 貴子...
一品... 貴子...

例... ぬ...
例... ぬ...
例... ぬ...

上東門院中宮...
上東門院中宮...
上東門院中宮...

一條院...
一條院...
一條院...

大貳三位...
大貳三位...
大貳三位...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

神...
神...
神...

いとほしや神をさしとく相伝ひいさかめり中川の御守りたりとあり
おまけりいひし 岸に丹鳥高言 頼玉をこして御侍りたりは

古くは 神子あすうく火吹と火を 相傳式部

凡の志を昔の神よりしきと申ししは

神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは

神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは

神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは

神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは
神の志を昔の神よりしきと申ししは 神の志を昔の神よりしきと申ししは

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家 法親寺にまゝして侍るることの 大綱言忠家

定む人の愛よみそよさらしあがり死して八年あゆみ
ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

あつをわたり ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

原為 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

月をそよ 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

能因法師 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

今あけの月 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

昔の中 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

この中 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

白河の 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

の 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

十月の 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

水無瀬 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

侍 兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

兼 ねんそよしりき男 及よまの山はくそよみれるもした

浦上巻の...

加加子納

浦上巻の人... 浦上巻の人 ... 浦上巻の人 ... 浦上巻の人 ... 浦上巻の人 ... 浦上巻の人 ...

丹乳母

丹乳母... 丹乳母 ... 丹乳母 ... 丹乳母 ... 丹乳母 ... 丹乳母 ...

源 忠朝の御時... 是 忠朝... 大江山源朝臣 四位

後頼朝... 佛... 新十将... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

佛... 忠朝の御時... 佛... 忠朝の御時...

母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に

西行法師
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に

母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に
母のゆのひよ作りけるはあまのうらみのあ
たりし人の死に

校長 右側 忠教
教長 教長

前名 後 教長 右 忠教 左 忠教
信 教長 教長

ついでに... 帝の蓮法師

人よ... 西行法師

乃道在方后

母の... 西行法師

晴 活もぬれくんの...
 くこのおどけ...
 隠れ...
 誰は...
 あ...
 法橋行通 建昭の
 子の...
 うの...
 うり...
 あ...
 能因法師

あ...
 あ...
 あ...
 あ...

妻の...
月...
権中...
通俊

坊...
 権中...
 權中...
 權中...
 權中...
 權中...

Handwritten text in Kuzushiji style, consisting of multiple columns of dense cursive script. The text appears to be a personal letter or a diary entry, covering most of the page.

Handwritten text in Kuzushiji style, including several columns of dense cursive script. A prominent vertical title or section header is visible on the left side of the page.

大正の年

うらやまのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
流る人のあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて

あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて

あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて
あつきのあらはにけりて月をうらやまのあらはにけりて

四騎 旅哥

和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

元明天皇御宇 和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

天保十二年十月 伊勢國のみあつてけりて月をうらやまのあらはにけりて

御代豊國成姫
小名阿閉皇女

拾芥抄云元明
天智第四女諱

日本根子天津
御代豊國成姫

和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

元明天皇御宇 和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

天保十二年十月 伊勢國のみあつてけりて月をうらやまのあらはにけりて

和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

元明天皇御宇 和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

天保十二年十月 伊勢國のみあつてけりて月をうらやまのあらはにけりて

和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

元明天皇御宇 和銅三年三月 若菜京の宿よりけりて月をうらやまのあらはにけりて

山崎の... 忠告

忠告の件... 忠告

古... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

忠告... 忠告... 忠告

古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居

古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居

古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居

古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居
古 月 明 之 家 浦 之 波 ぎ 在 京 家 陸 新 居

初をいふと... 長月のは初... 初をいふと... 長月のは初... 初をいふと... 長月のは初...

千五百番... 百人... 百人... 千五百番... 百人... 百人... 千五百番... 百人... 百人...

千人... 百人... 百人... 千五百番... 百人... 百人... 千五百番... 百人... 百人...

浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて

堀河院時百首新古今 卷之五

あまのついでに 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて

題 七 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて

あまのついでに 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて 浦 日よつて



